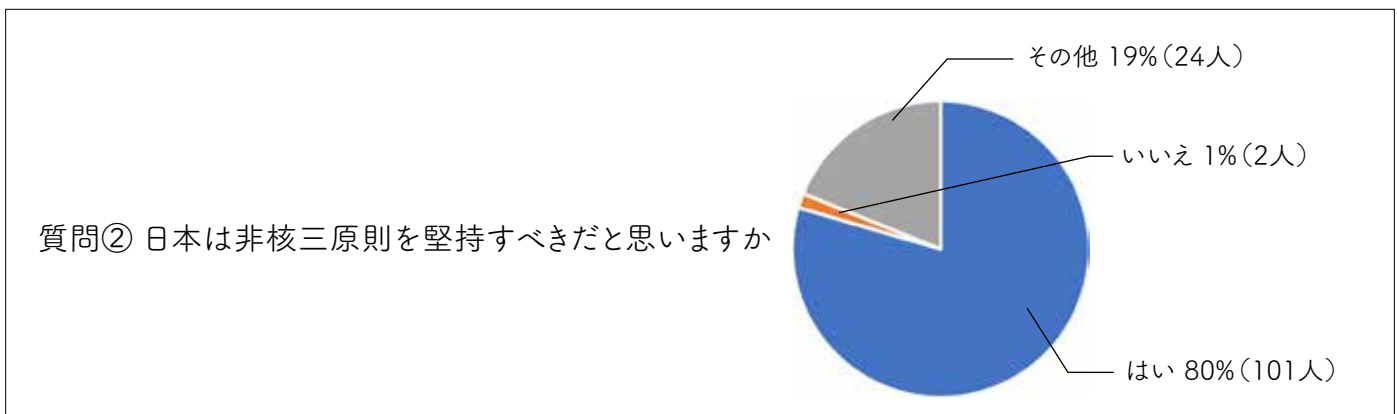
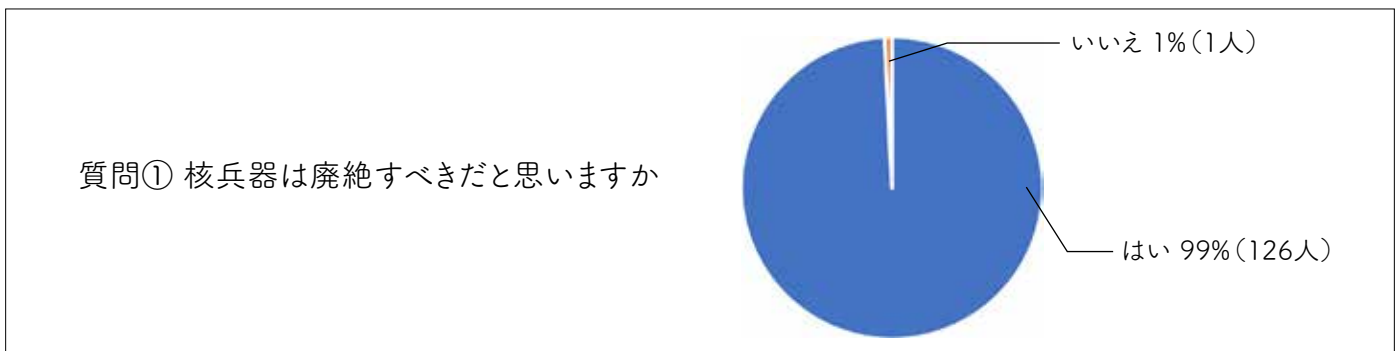
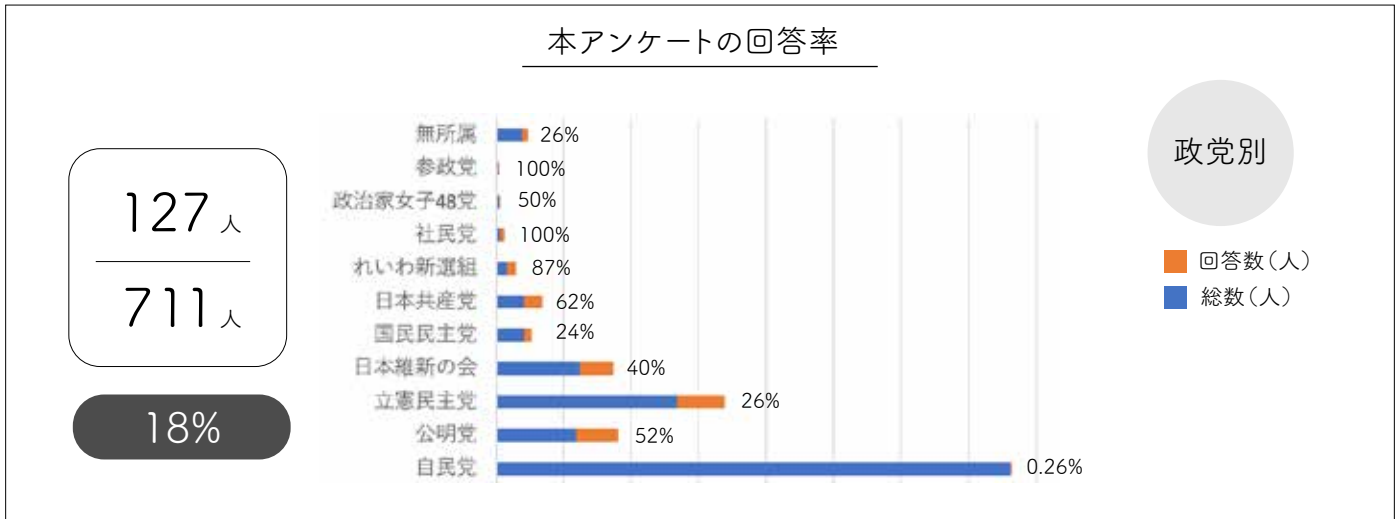




核兵器政策に関する国会議員調査2023夏

議員ウォッチプロジェクトでは、2023年7月21日、以下の質問を、すべての現職国会議員の議員会館事務所に往復ハガキで送りました。加えて、電子メールアドレスが公開されている議員や、ホームページにお問合せフォームがある議員に対しては、同じ内容の問い合わせを送りました。

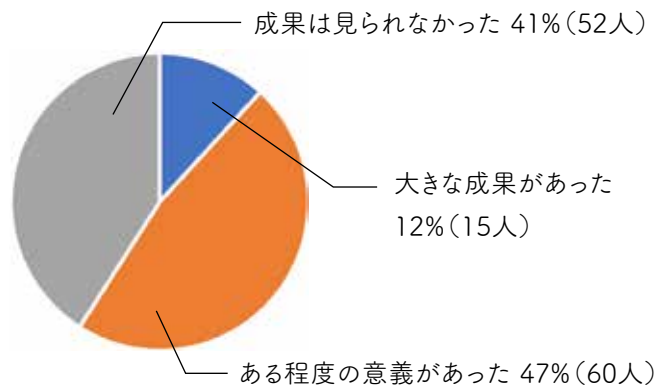
回答は、往復ハガキでもオンラインでも受け付けられる形を取りました。8月4日時点で得られた回答を集計した結果は以下の通りです。引き続き、未回答の議員に対して回答を求めています。



理由

- | | |
|-----|--|
| はい | <ul style="list-style-type: none"> ・唯一の戦争被爆国日本は、核兵器廃絶に向かうべきであり、世界でその先頭に立つべき ・二度と広島・長崎のような非人道的惨禍を世界のどこにも引き起こさないため ・唯一の被爆国として核廃絶に向けて非核三原則でリード |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・核共有などの議論を深めるべき ・核の脅威からいかにして国を守るか、現実的に議論すべき |

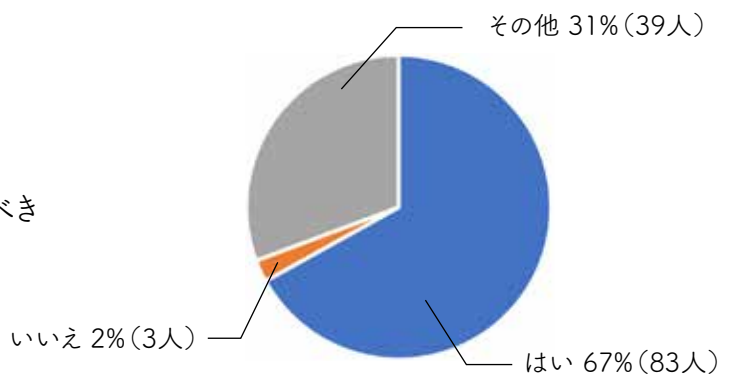
質問③ 核兵器廃絶に向けてG7広島サミットには成果があったと思いますか



理由

大きな成果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・G7、アウトリーチ国、ウクライナの首脳が一同に広島に集い、被爆の実相に触れたことを過小評価すべきではない
ある程度の意義があった	<ul style="list-style-type: none"> ・内容的には成果なし。しかし、首脳が核兵器の悲惨さを共有できたことは良かった ・唯一の被爆国として、平和をリードする存在の一步を踏み出せた
成果は見られなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・核抑止論を言うのは大問題。核兵器廃絶への道りが見えなかった ・「核抑止力」論にたち、核兵器廃絶を永久に先送りしたことは許されない

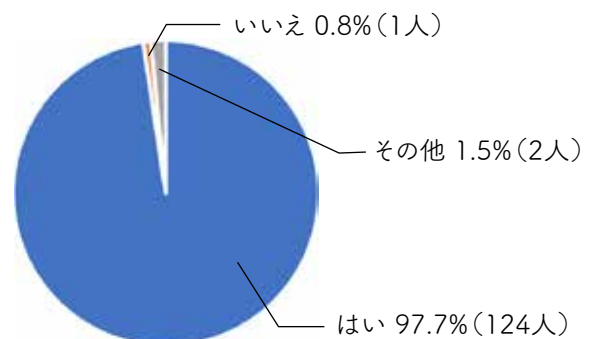
質問④ 核兵器禁止条約に日本は参加すべきだと思いますか



理由

はい	<ul style="list-style-type: none"> ・唯一の戦争被爆国として、核廃絶の姿勢を示すため ・同条約はNPTと補完的な関係にあり、岸田首相も最終的なゴールであると明言している ・核保有国の理解を進め、日本が参加できる環境を整えて参加すべき
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・抑止という現実があるため ・核が有効な抑止力となっている現状を鑑みて、慎重に議論すべき

質問⑤ 核兵器禁止条約の第二回締約国会議に日本はオブザーバー参加すべきだと思いますか



理由

はい	<ul style="list-style-type: none"> ・核保有国と非保有国の橋渡し役を積極的に果たすべき ・核保有国を交渉のテーブルに参加させる努力をすべき ・締約国の意見を聞いておくべき
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・関係各国との調整が必要